



## 2019 オートバックス全日本カート選手権 OK 部門 第 5 戦・6 戦

開催場所 茂原ツインサーキット(千葉県)  
開催日 7月 6 日・7 日  
参加台数 OK クラス 29 台  
天候 晴れ  
路面状況 ドライ

～INTREPID JAPAN CORSE～

監督:佐藤燐二

ドライバー:水野皓稀 / 佐藤凌音

メカニック:伊藤進/橋本剛基

エンジン担当:K SPEED WIN

アドバイザー:井上寛之



## 2019 全日本カート選手権 第 5&6 戦 (茂原ツインサーキット)

2019 オートバックス全日本カート選手権は前回大会から約1ヶ月のインターバルをおき第5&6戦となる茂原ツインサーキットでの戦いへと場所を移した。このレースが終わると全日本は約 3 カ月のお休み期間。もちろんチームにはタイヤ開発などインターバルの間も開発業務が目白押し、毎年灼熱の戦いとなる折り返しの茂原決戦、チームは水曜日から現地入りし木曜日からの走行に備えた。しかし毎年灼熱のはずの茂原の天気予報は豪雨を予報するなど例年と違う様相を呈している。またここ茂原ツインサーキットの本コースは通常は4輪などの走行が行われるハイスピードコース、さらに高低差が約 9 メートルと明らかにエンジンパワーの差が出るコースである。

ドライバーは前回大会で 2 位を獲得した水野、そして前回大会では速さをみせるものの初めてのコースと流石の周りのドライバーのレベルに苦戦してしまった佐藤。両選手は木曜より走行を開始するが、早速天候に左右される。しかしドライでもウェットでもまずまずの上位タイムを刻んでいるようだ。このスペシャルタイヤを使用する OK クラスでは、なんとウェットコンディションでのタイムが 4 輪のコースレコードと同じ…。このカートの最高峰カテゴリーの驚異的な速さを示したタイムだ。チームは木曜、金曜と順調に走行することが出来たが、土曜日の天気予報は雨。明け方まで降り続いた雨は公式練習には上がっていたが、公式練習中はレインタイヤ。しかし公式練習中に路面は急速に回復、その後に他のカテゴリー走行もありタイムトライアルのころには、ほぼドライコンディションとなつた。



水野 皓稀 選手



佐藤 凌音 選手

## 【タイムトライアル】水野 B 組 10 位(全体 12 位) / 佐藤 B 組 13 位(全体 18 位)



抽選で行われる組み分けは、水野、佐藤の両選手ともに B 組、これまでの鈴鹿大会と本庄大会ではともに A 組のタイムが B 組をコンマ 2 程上回ったが、それはゴムがのった路面での話。雨上がりの路面ではどうなるのか…B 組のタイムトライアルは午後 3 時 20 分にスタート、と同時に風が強くなりはじめ雨を予感し始める。両選手ともに熱の入りが遅いような動きをする。タイムは水野が B 組トップの選手からコンマ 3 程遅れ 40,289 で 10 位、佐藤は 40,527 で 13 位となり、全体で水野は 12 位、佐藤は 13 位とこれまでの速さから考えると非常に悔しいタイムトライアルとなってしまった。



## 【第 5 戦 予選】水野 24 位 / 佐藤 20 位

OK クラス第 5 戦の予選は 16:20 にレーススタート、しかしタイムトライアル直後から降り出した雨によりコンディションはレインタイヤを履くウェットコンディションになった。レースは 1 周のディレイの後にスタート。しかしレーススタート直後から両選手ともに明らかにペースが上がらない…氷の上を走るような動きにペースとしてもトップグループからは秒で足りない…。非常に厳しいコンディションにも関わらずドライバー二人はなんとかゴールまでマシンを運んでくれてた。練習中からは考えられない大失速とかつてないドツボリ方に肩を落とす予選となってしまった。



## 【第5戦 決勝】水野 21位 / 佐藤 18位

日は変わり、7月7日 七夕のレース決勝日。ドライコンディションを願う我々の願望もむなしく予報は終日雨…朝から強い霧雨のような雨が降り注いでいる。昨日の予選の反省からタイヤへの入力を最大限まで上げるセッティングを施し、レースに挑む。朝9時40分にレーススタート。しかし、ここでも予選同様にペースは上がらない…入力を強めるセッティングを施した分、幾つかタイム差は縮まったが、ここでも両選手ともに苦しい動き…。何とか両選手ともに完走したが、なんとも苦しいレースが続く。第6戦もこのままいくと、非常にまずいことになると、チームは大幅に方向を見直す決断をする。



## 【第6戦 予選】水野 11位 / 佐藤 15位(Fスパイラー脱落ペナルティ)



セッティングを根本から変更し挑んだ第6戦の予選は再びタイムトライアルの順位でスタート。レースは丁度正午になんと4周のディレイの後にスタート。今度はマシンの動きが両選手ともに劇的に改善。まだトップグループにはコンマ4の差はあったが、BSタイヤ内でも上位のタイム。なんとか希望も見えてきた。水野は2つ順位を上げゴール、佐藤もフロントスパイラーを脱落し5秒のペナルティーを受けながらも15位と最悪の状況は脱した。ここから更にセットを煮詰めて、長い28週の第6戦決勝に備える。



## 【第6戦 決勝】水野 10位 / 佐藤 11位



第6戦の決勝は夕方 16 時にスタート。パッケージ的には雨がせめて降りやむことを願ったが、運はなく決勝レースでは大粒の雨粒となり、最終コーナーをはじめ、複数箇所で川のようになっている。レースはこれまでのスタートとは違い、誰もかけることなく始まる。スタートから佐藤凌音の動きが良い。BS タイヤでは予選最上位でこの茂原を得意中の得意とする高橋選手にも見劣りしないタイムで難しいコンディションのなか慎重に前のマシンをパス。しかし最終コーナーを流れる川がストレート前の一番大事なコーナーでハイドロを起こす。一歩間違えるとクラッシュパットに吸い込まれそうなコンディショ

ンのなか、水野終盤には強豪佐々木選手にも競り勝ち 10 位、佐藤は BS 勢でもトップ近いタイムで走り、11 位と苦しいながらも全レースを完走した。今回のレースでは前回大会同様に上位を走れるポテンシャルを持って挑んだだけに非常に残念な形となりました。運も含め、すべての方向性が悪い方へと進む中、第 6 戰の予選からは勇気をもって根本を見直し、ベストリザルトは取れませんでしたが最後まであきらめることなくレースが出来たことはチームとしてもプロフェッショナルとして動けた証拠だと思います。今回は残念ながらチャンスはありませんでした。しかし次戦の SUGO 大会まであと 3 か月。この期間にタイヤテストをはじめ出来ることは全てこなして、この長いインターバルを有効に利用したいと考えています。今大会も様々な方より応援、またご声援賜りましたこと深く御礼申し上げます。



## #33 ドライバー 水野皓稀 コメント



茂原大会では第5戦の予選はレインコンディションになりこのコンディションに合わせ切ることが出来ずに24位フィニッシュで終わってしまいました。決勝でもうまく歯車が噛み合わず21位という結果で終わってしまいました。第6戦ではセットを大きく変更し、気持ちも切り替えて行った結果予選では11位フィニッシュ。決勝では10位でゴールで終わりました。今回のレースではDL勢が有利でしたがそれでもめげずに走り切れたのは良かったと思います。

## #44 ドライバー 佐藤凌音 コメント



今回の茂原大会はいつも苦手なスタートがうまくいったのは良かったですが、まだまだバトルが弱いのと、コース攻略できたのが6戦の予選と遅く、まだまだ未熟だと思います。次の菅生は走ったことのあるコースで、コース前半区間は身体に厳しいので、しっかりとフィジカルトレーニングをして今回よりも良い結果を出したいです

